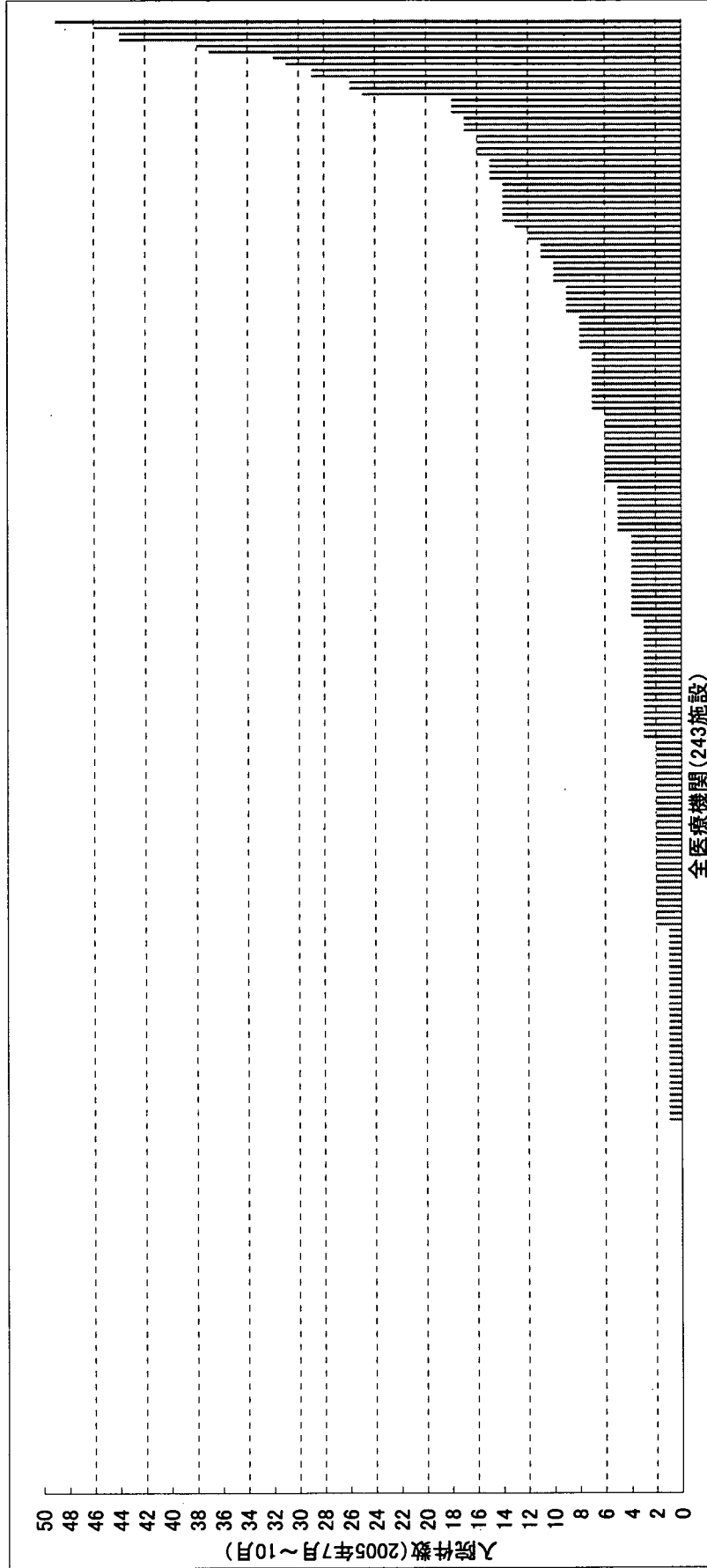


甲状腺の悪性腫瘍の入院件数

解析対象DPC番号の範囲	1000203	パーセンタイル											
分類名	対象	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺の悪性腫瘍	入院件数	1,378	5.7	8.6	0	49	0	0	1	2	7	15	24



【図の説明】

■：甲状腺の悪性腫瘍の症例数

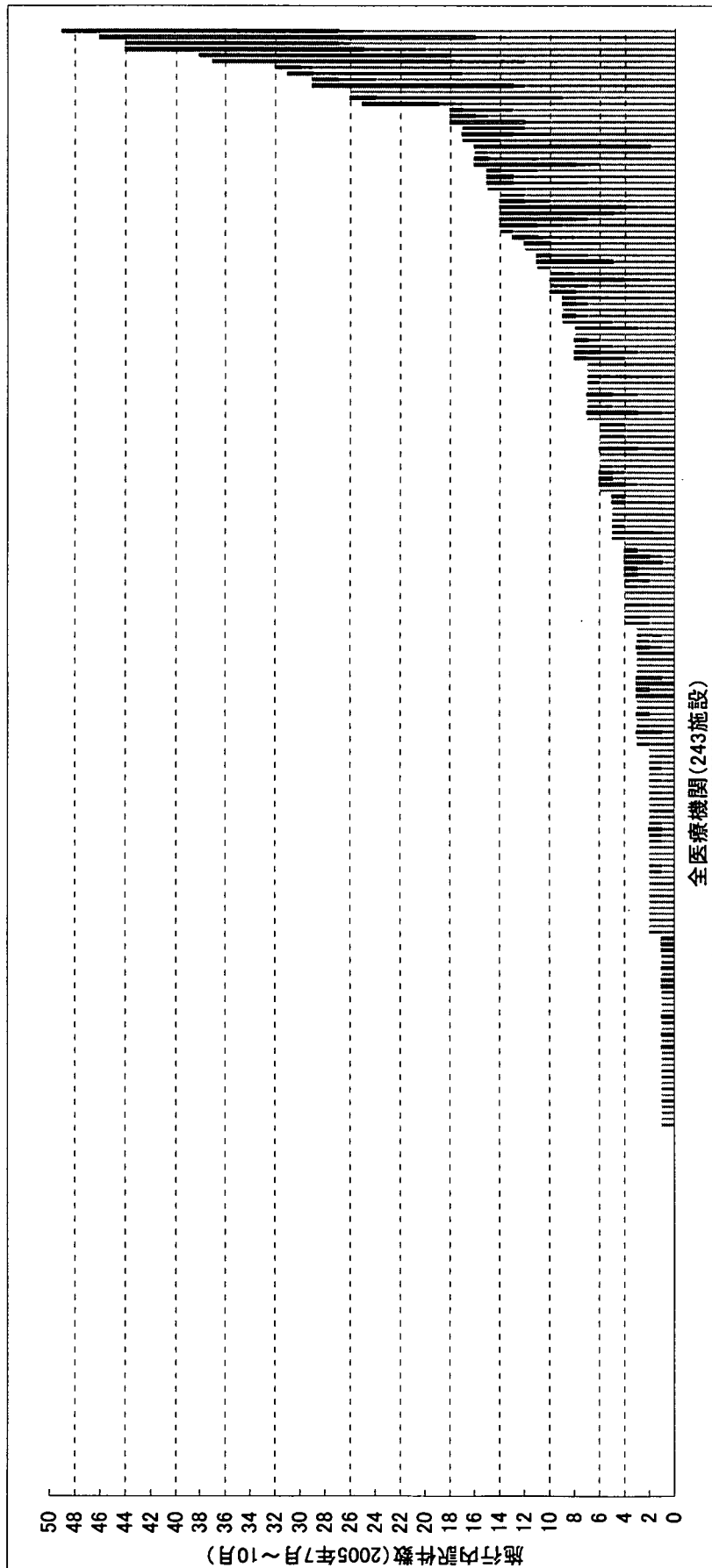
斜線：全医療機関(243施設)

【コメント】

- ・甲状腺の悪性腫瘍の症例数1例以上の医療機関は182施設(全体の75%)において見られた。
- ・甲状腺の悪性腫瘍の症例数は、医療期間で大きなバラツキが見られた。

甲状腺の悪性腫瘍の施行内訳件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル												
	対象	1000203	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
甲状腺の悪性腫瘍	入院件数		1378	5.7	8.6	0	49	0	0	1	2	7	15	24	
	手術なし		300	1.2	3.8	0	30	0	0	0	0	1	2	6	
	その他の手術		217	0.9	1.7	0	15	0	0	0	0	1	3	4	
	全摘・亜全摘		861	3.5	5.2	0	29	0	0	0	2	5	10	14	



【図の説明】

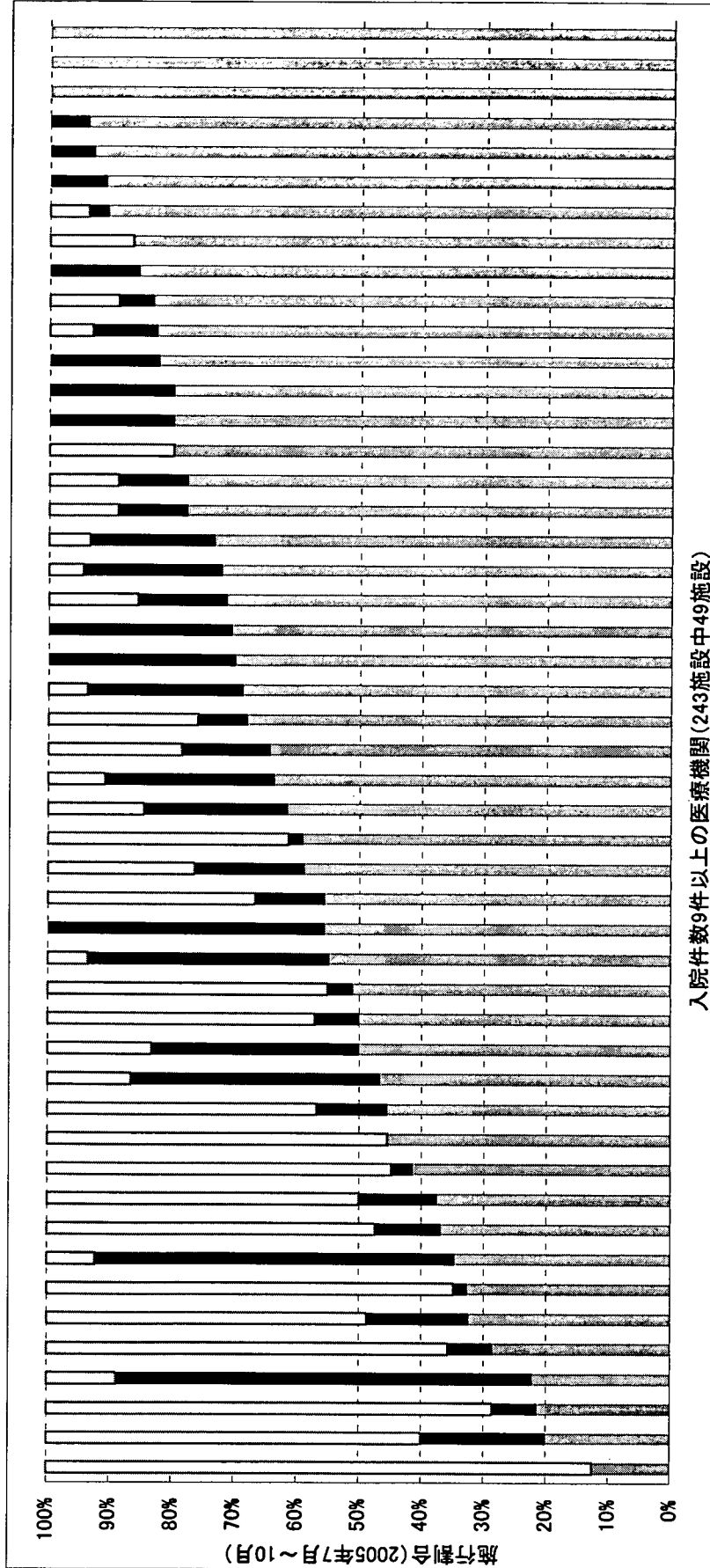
: 全摘・亜全摘 [DPC手術コード:01, 02]
 : その他の手術 [DPC手術コード:03, 04, 97]
 : 手術なし [DPC手術コード:99]

【コメント】

- ・甲状腺の悪性腫瘍では、摘出術の割合が多かった。
- ・最も症例数が多かった施設では、全摘・亜全摘が51%、その他の手術が4%、手術なしが44%であった。

甲状腺の悪性腫瘍の施行割合 (N = 938)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺の悪性腫瘍	手術なし	22%	24%	0%	88%	0%	0%	0%	11%	43%	56%	65%
	その他の手術	16%	15%	0%	67%	0%	0%	6%	11%	20%	34%	43%
	全摘・亜全摘	62%	23%	13%	100%	22%	32%	45%	64%	80%	91%	98%



【図の説明】

件数上位25%(9件以上)の施設を解析対象とした。

■ : 全摘・亜全摘

■ : その他の手術

□ : 手術なし

【DPC手術コード:01, 02】

【DPC手術コード:03, 04, 97】

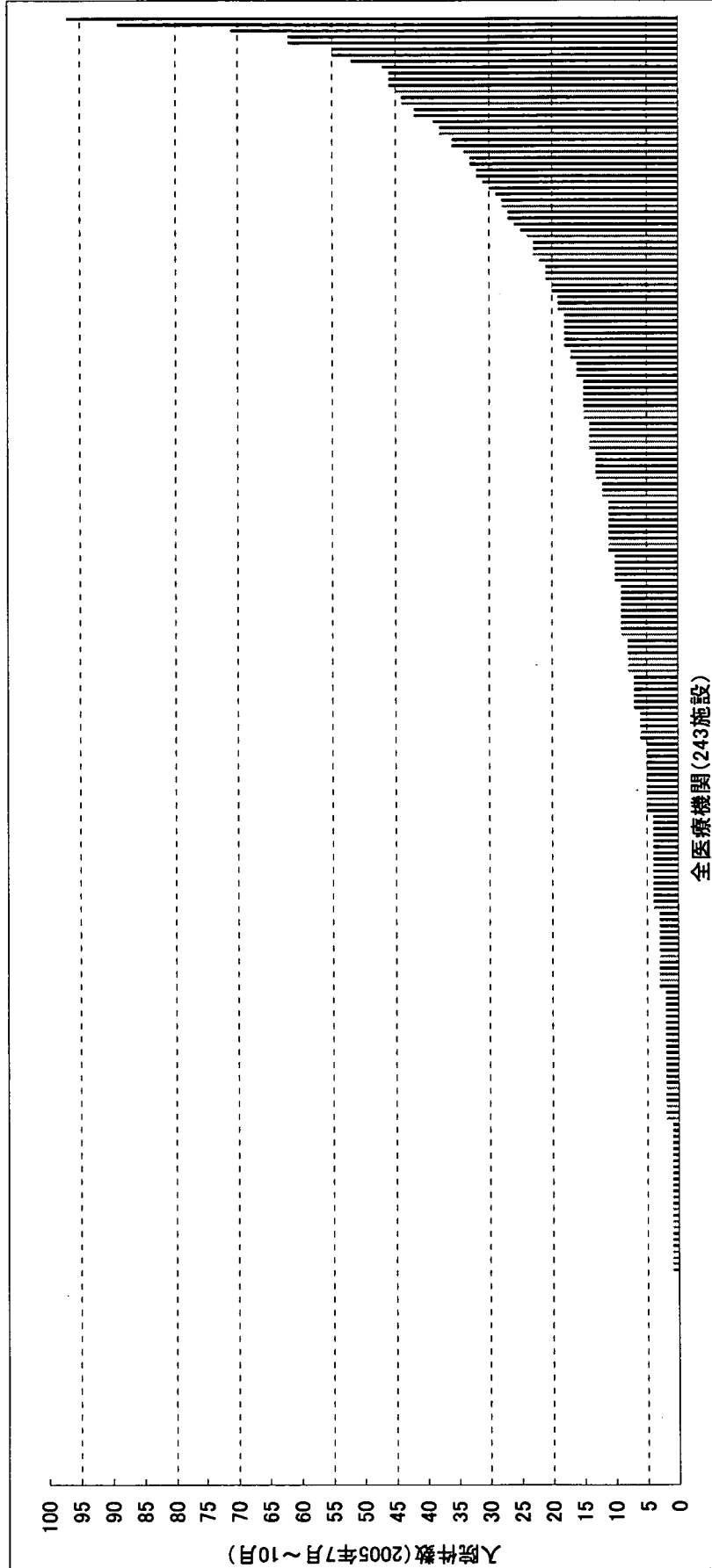
【DPC手術コード:99】

【コメント】

・甲状腺の悪性腫瘍では、摘出術の割合が多かった。

2型糖尿病(教育入院)の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	対象	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
2型糖尿病(教育入院)の入院件数	入院件数	2,870	11.8	15.6	0	97	0	0	2	5	15	33	45
	特定機能病院	441	11.9	12.5	1	45	1	1	2	8	15	30	39
	その他の参加病院	2,429	14.2	16.8	1	97	1	2	3	9	18	36	47



【図の説明】

■: 特定機能病院

■: その他の参加病院

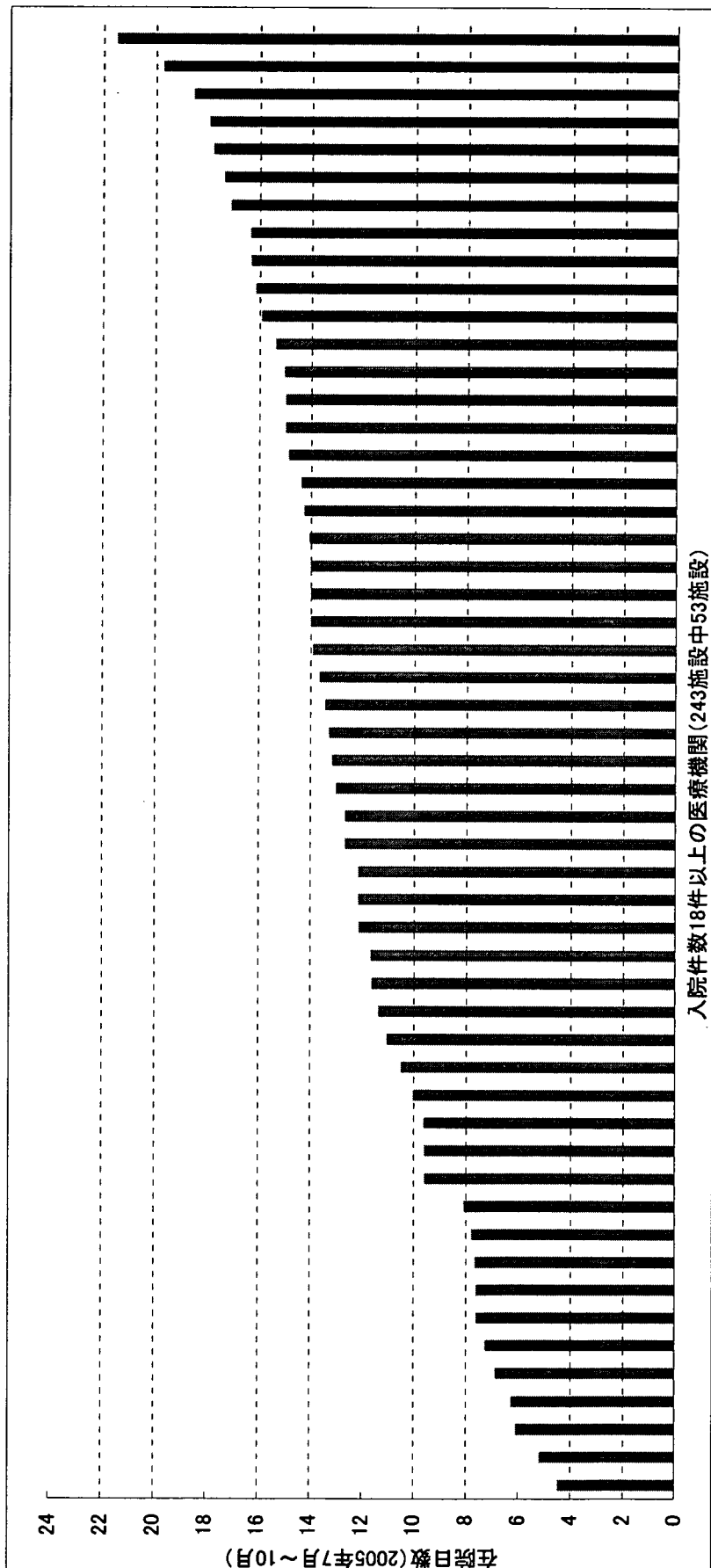
全医療機関(243施設)

【コメント】

- ・2型糖尿病の件数は、MDC10の全症例数の約12%を占めていた。
- ・2型糖尿病の症例数1例以上の医療機関は全体の86%(208施設)において観察された。

2型糖尿病(教育入院)における平均在院日数(N = 1,838)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
2型糖尿病(教育入院)	在院日数	12.6	3.9	4.5	21.5	6.2	7.3	9.6	13.2	15.0	17.3	18.2



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(18件以上)の施設を解析対象とした。

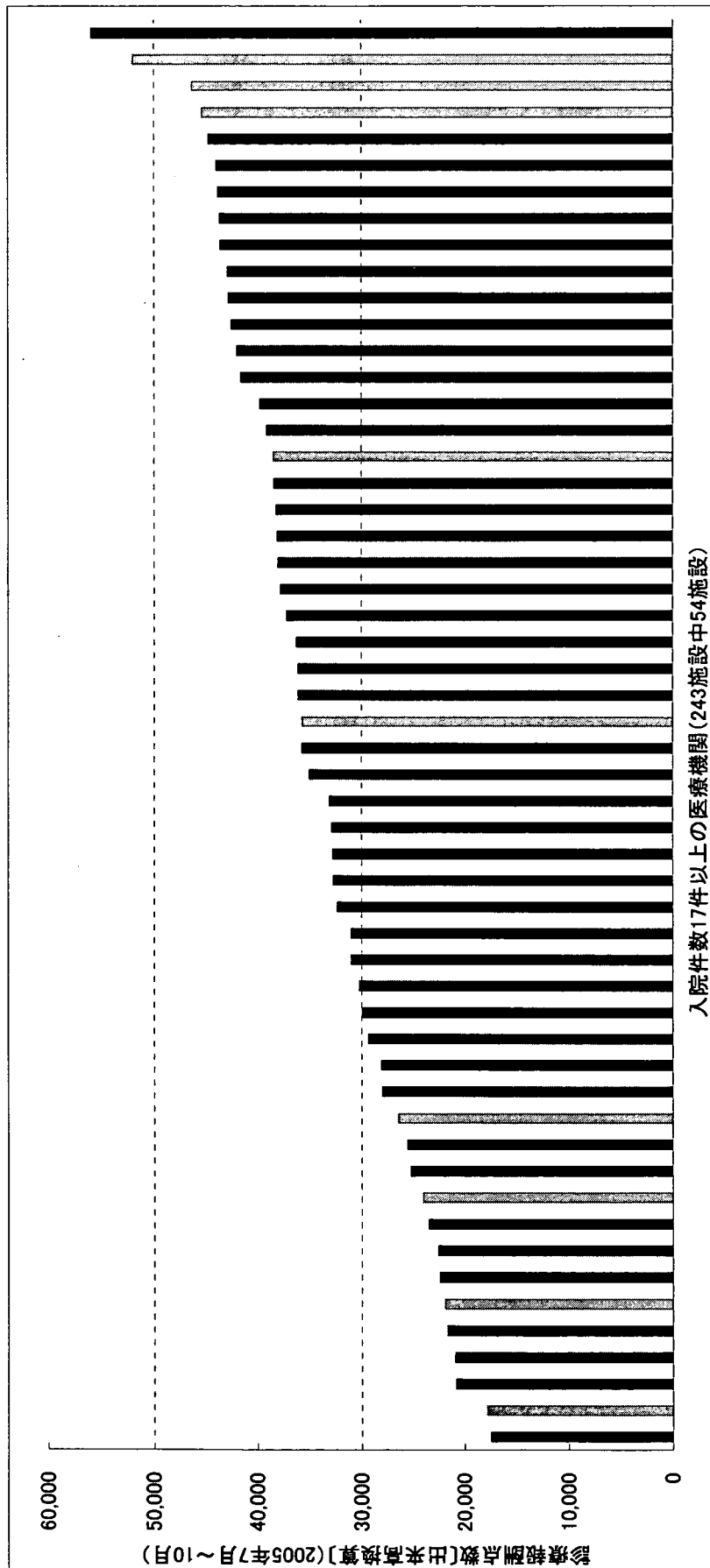
■: 2型糖尿病の平均在院日数

【コメント】

- ・約半数の医療機関の平均在院日数が15日未満であった。
- ・2型糖尿病(教育入院)平均在院日数には、医療機関で大きなバラツキが見られた。
- ・外れ値下位2.5%未満に24件が相当したが、そのうち22件が1施設で占められていた。

2型糖尿病(教育入院)における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値(N = 1,834)

分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	パーセンタイル									
						5	10	25	50	75	90	95			
2型糖尿病	診療報酬点数〔出来高換算〕	34,370	8,797	17,558	55,972	20,999	22,235	28,066	35,816	41,189	43,948	45,755			
	特定機能病院(9施設)〔出来高換算総点数〕	34,344	12,169	17,993	52,107	19,641	21,288	24,119	35,829	45,409	47,539	49,823			
	その他の参加病院(45施設)〔出来高換算の総点数〕	34,375	8,142	17,558	55,972	21,185	22,589	29,398	35,803	39,784	43,657	43,964			



【図の説明】

外れ値両側5%を除き、件数上位25%(17件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

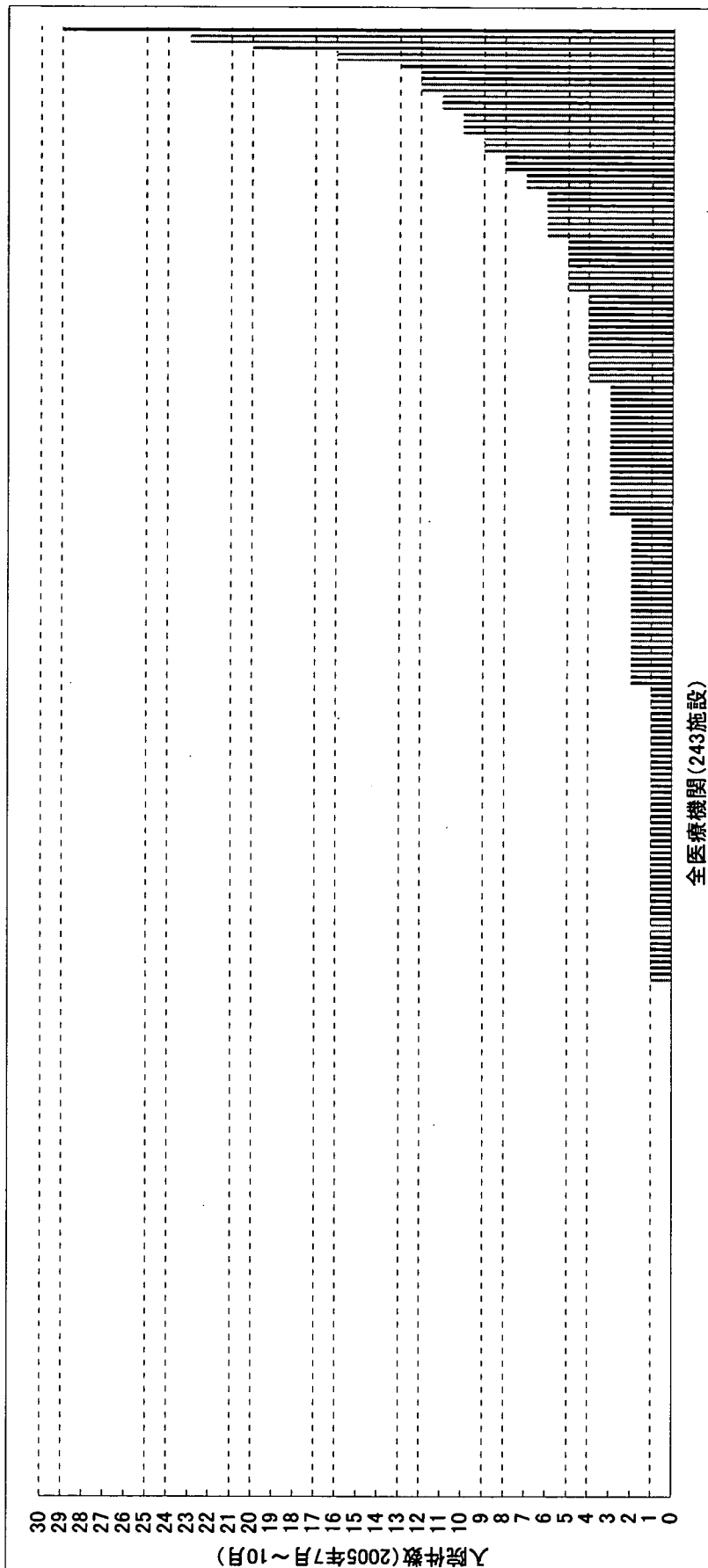
■: その他の参加病院

【コメント】

・2型糖尿病の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、医療機関で3倍近いバラツキが見られた。これは平均在院日数を反映したものと考えられる。

甲状腺機能亢進症の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
分類名	対象	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	入院件数	657	2.7	4.2	0	29	0	0	0	1	3	7	11
	特定機能病院件数	278	7.1	5.4	1	23	1	2	3	6	10	13	17
	その他の参加病院件数	379	3.2	3.8	1	29	1	1	1	2	4	6	10



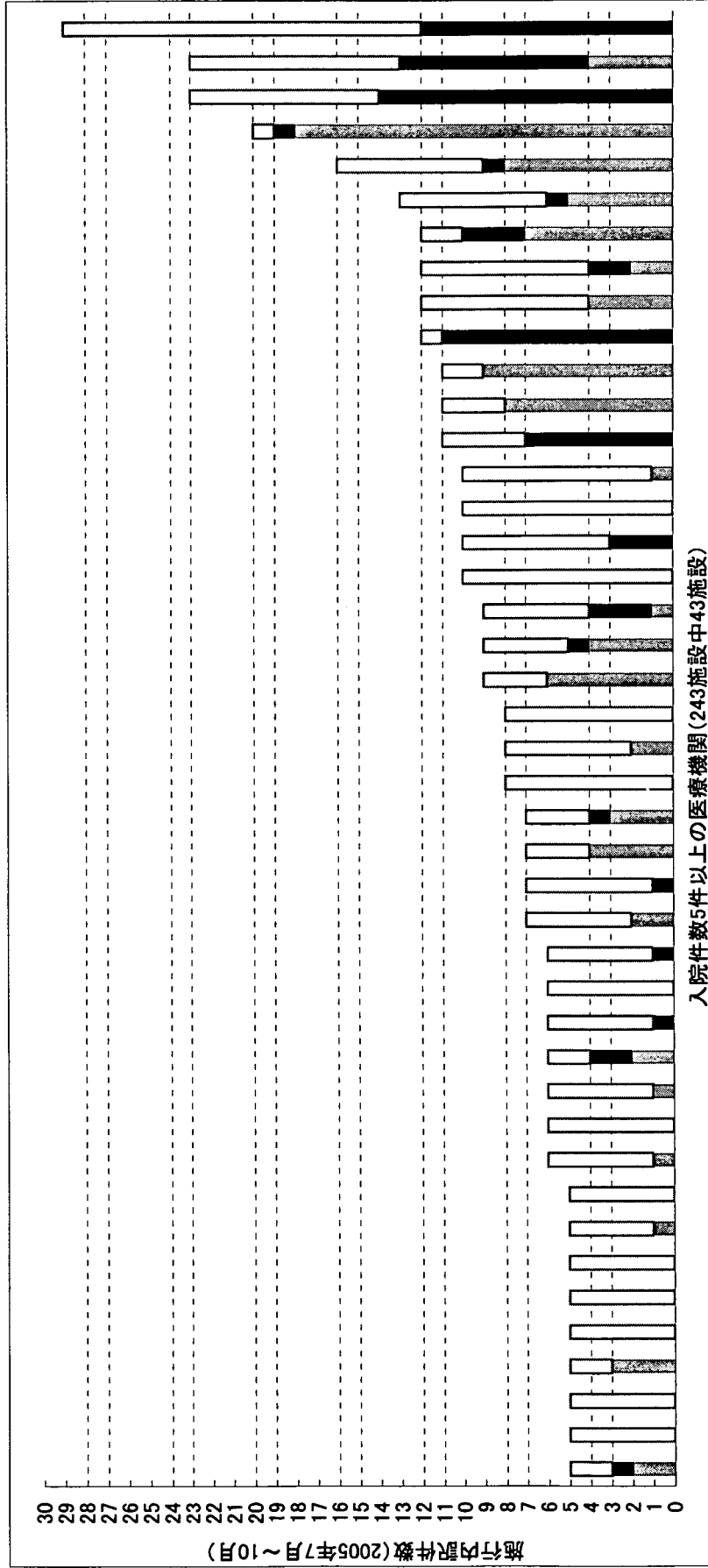
【図の説明】

【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症の症例数1例以上の医療機関は158施設(全体の65%)において見られた。
- ・甲状腺機能亢進症の症例数が多い医療機関は、特定機能病院に多く見られた。
- ・甲状腺機能亢進症の症例数は、医療機関で大きなバラツキが見られた。

甲状腺機能亢進症の施行内訳件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル											
	1001403x01/1001403x02/1001403x99x0/1001403x99x1/1001403x99x2	1001403x01/1001403x02/1001403x99x0/1001403x99x1/1001403x99x2	件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	全入院件数		634	4.1	4.5	1	29	1	1	1	2	5	10	12
	手術なし		238	5.5	3.0	1	17	2	4	5	7	9	10	10
	内科的療法		75	1.7	3.5	0	14	0	0	0	1	6	11	11
	手術療法		98	2.3	3.5	0	18	0	0	1	4	7	8	8



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(5件以上)の施設を解析対象とした。

■ : 手術療法[DPC手術コード:01, 02]

□ : 手術および処置なし[DPC手術コード:99かつDPC処置2:コード0]

■ : 内科的療法I131(放射線性ヨード)内用療法, エタノールの局所注入, 放射線療法

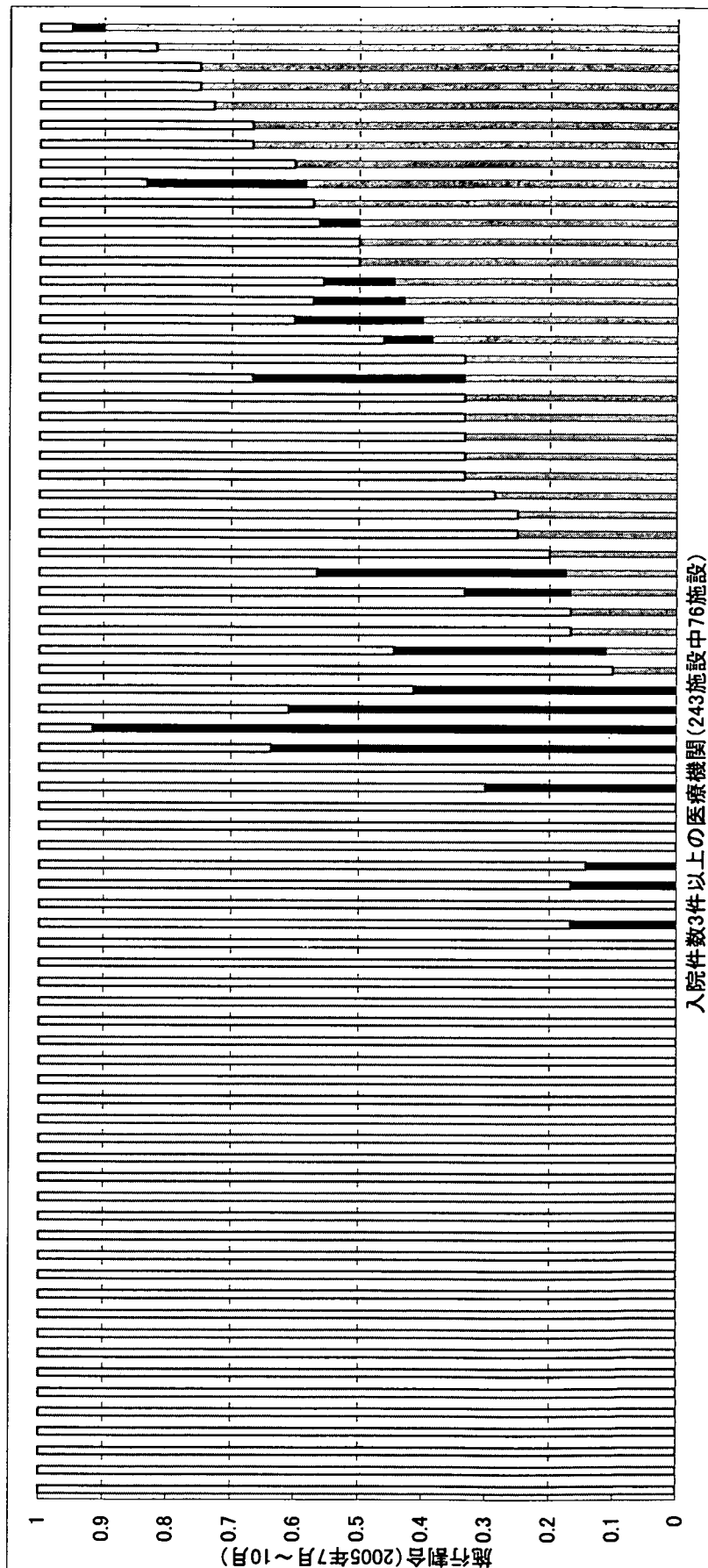
□ : DPC手術コード:99かつDPC処置2コード:1, 2]

【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症では、全体的に見ると手術なしの割合が多かった。
- ・最も症例数の多かった医療機関では、内科的療法が41%、手術なしが59%であり、手術療法は一件もなかった。

甲状腺機能亢進症の治療内訳割合 (N = 522)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	手術なし	74%	29%	5%	100%	23%	33%	49%	83%	100%	100%	100%
	内科的療法	7%	17%	0%	92%	0%	0%	0%	0%	1%	28%	40%
	手術療法	19%	26%	0%	90%	0%	0%	0%	0%	33%	59%	73%



【図の説明】

件数上位25% (3件以上) の施設を解析対象とした。

■ : 手術療法 [DPC手術コード: 01, 02]

■ : 手術および処置なし [DPC手術コード: 99かつDPC処置2: コード0]

■ : 内科的療法 I131 (放射線性ヨード) 内用療法, エタノールの局所注入, 放射線療法

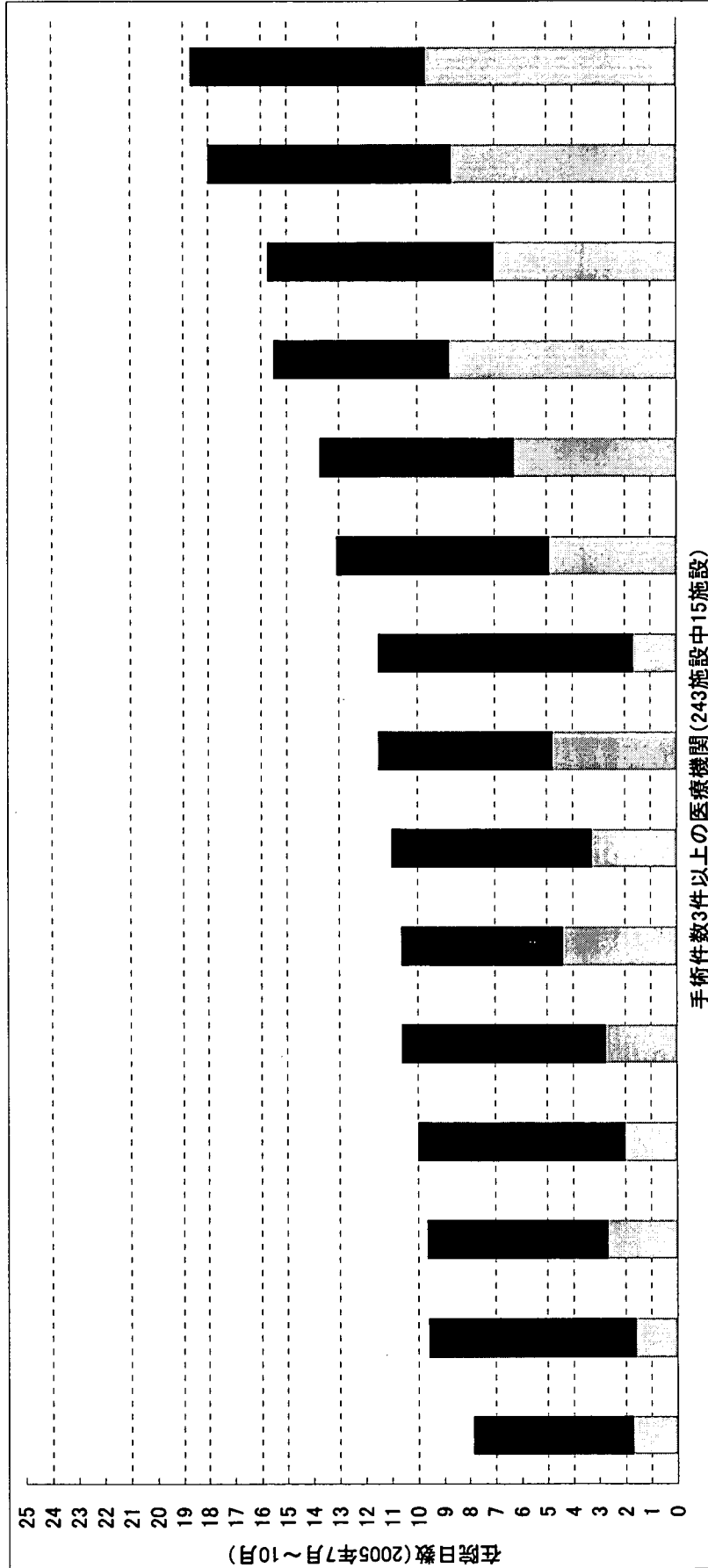
[DPC手術コード: 99かつDPC処置2: コード: 1, 2]

【コメント】

- ・甲状腺機能亢進症では、全体として手術療法が全症例の19%(99件)、内科的療法が7%(38件)であった。
- ・治療法として、外科的治療を選択するか内科的治療を選択するかは、医療機関により大きく異なっていた。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行した症例における平均在院日数(N = 88)

分類名	対象	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	在院日数	12.5	3.2	7.9	18.7	9.1	9.6	10.3	11.5	14.6	17.1	18.2
	術後日数	7.8	1.1	6.1	9.8	6.2	6.5	6.9	7.9	8.5	9.2	9.5
	術前日数	4.7	2.8	1.6	9.7	1.6	1.7	2.3	4.4	6.6	8.7	9.0



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(3件以上)の施設を解析対象とした。

□ : 術前在院日数

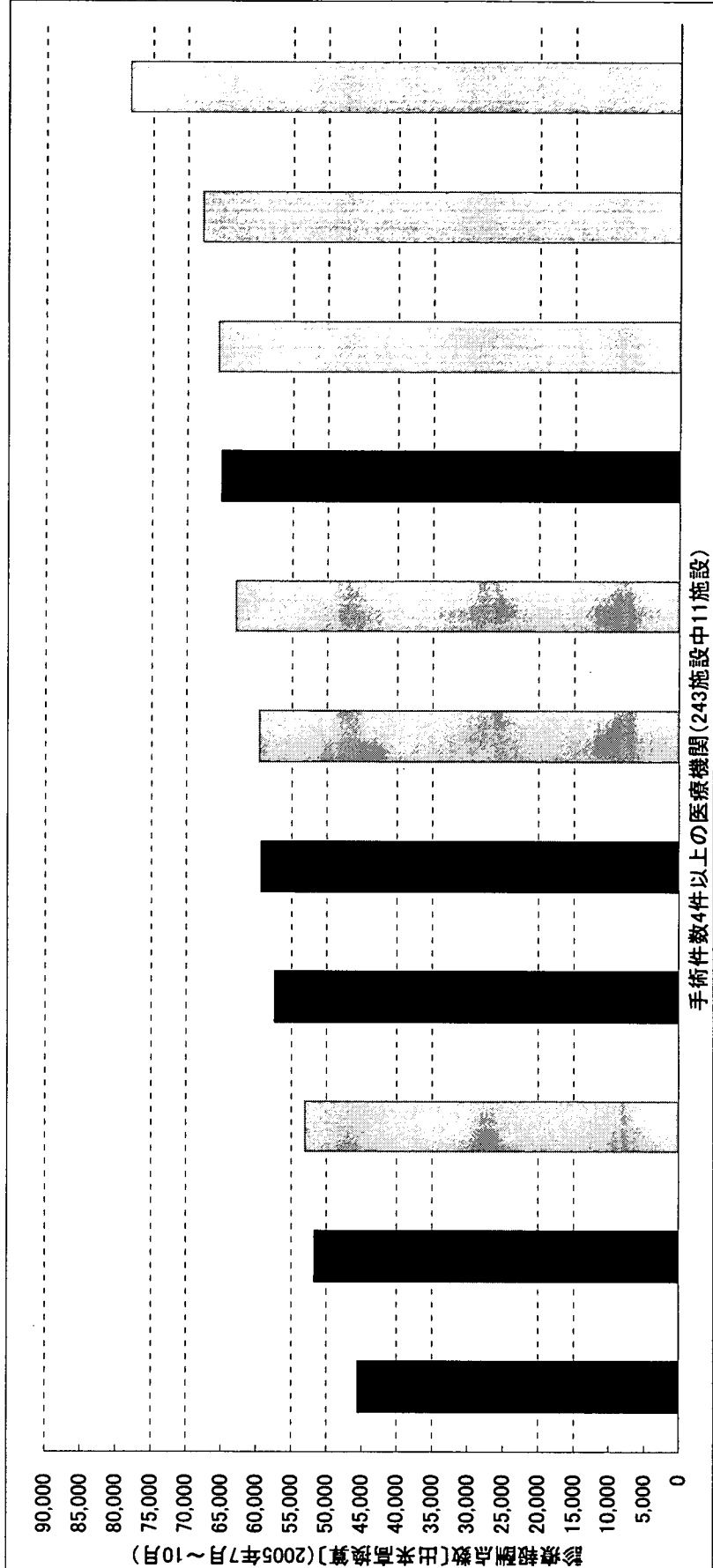
■ : 術後在院日数

【コメント】

・甲状腺機能亢進症の平均在院日数には、医療機関でバラツキが見られた。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行した症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値 (N = 76)

解析対象DPC番号の範囲		パーセントाइル										
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	診療報酬点数〔出来高換算〕	60,690	8,871	45,651	78,193	48,714	51,777	55,308	59,789	65,490	67,951	73,072
	特定機能病院(6施設)〔出来高換算総点数〕	64,677	8,406	53,157	78,193	54,815	56,473	60,646	64,485	67,402	73,072	75,632
	その他の参加病院(5施設)〔出来高換算の総点数〕	55,905	7,480	45,651	65,225	46,876	48,101	51,777	57,460	59,413	62,900	64,063



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(4件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

■: 特定機能病院

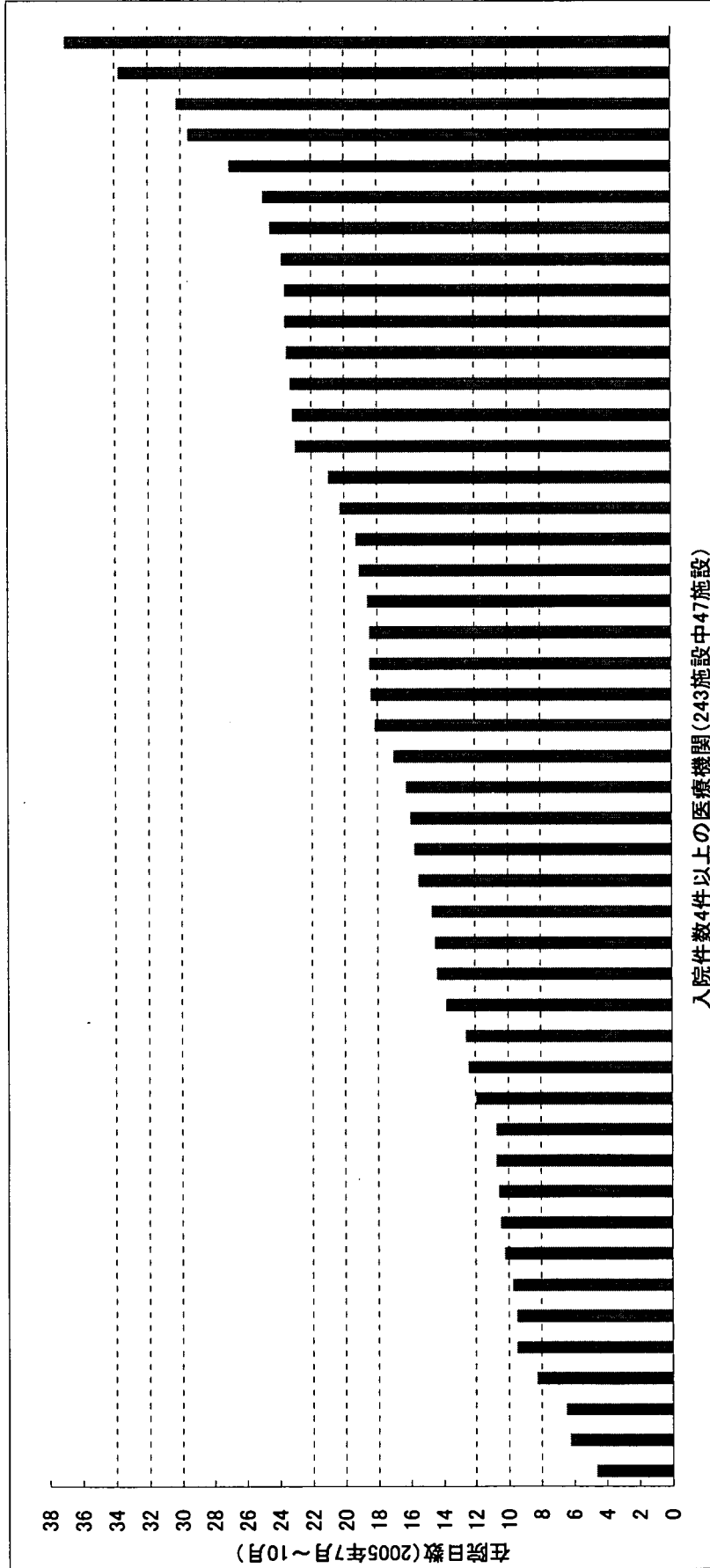
■: その他の参加病院

【コメント】

・甲状腺機能亢進症の診療報酬点数〔出来高換算〕は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行しなかった症例における平均在院日数(N = 338)

分析対象DPC番号の範囲	パーセンタイル											
	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
甲状腺機能亢進症	1001403*97および1101403*99	17.6	7.3	4.7	37.0	7.0	9.5	11.3	17.0	23.2	25.8	30.0
分類名	在院日数											



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25%(4件以上)の施設を解析対象とした。

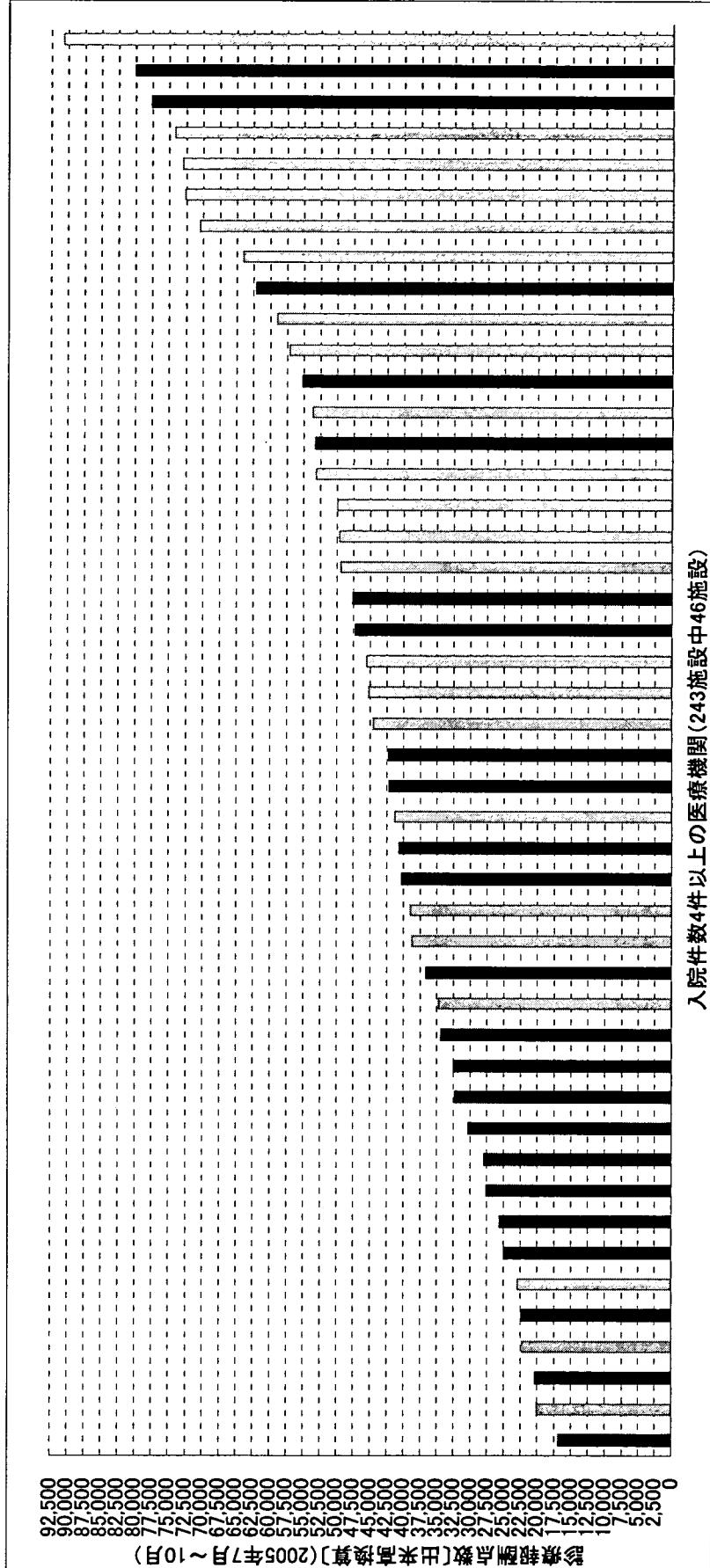
■ : 平均在院日数

【コメント】

・甲状腺機能亢進症の平均在院日数には、医療機関でバラツキが見られた。

甲状腺機能亢進症に対し手術を施行しなかった症例における一入院当たり診療報酬点数〔出来高換算〕平均値 (N = 332)

分析対象DPC番号の範囲	パーセンタイル											
	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
1001403x97および1101403x99	診療報酬点数〔出来高換算〕	45,563	18,070	16,971	90,830	20,890	22,742	32,426	43,471	54,897	72,968	76,835
	特定機能病院(23施設)〔出来高換算総点数〕	51,042	17,916	20,181	90,830	22,408	25,428	40,317	49,777	61,586	73,067	74,104
	その他の参加病院(23施設)〔出来高換算の総点数〕	40,084	16,856	16,971	80,102	20,608	22,939	27,832	36,684	47,504	60,789	76,156



【図の説明】

外れ値両側5%を除外し、件数上位25% (4件以上)の施設を解析対象とした。単位は診療報酬点数である。

□ : 特定機能病院

■ : その他の参加病院

【コメント】

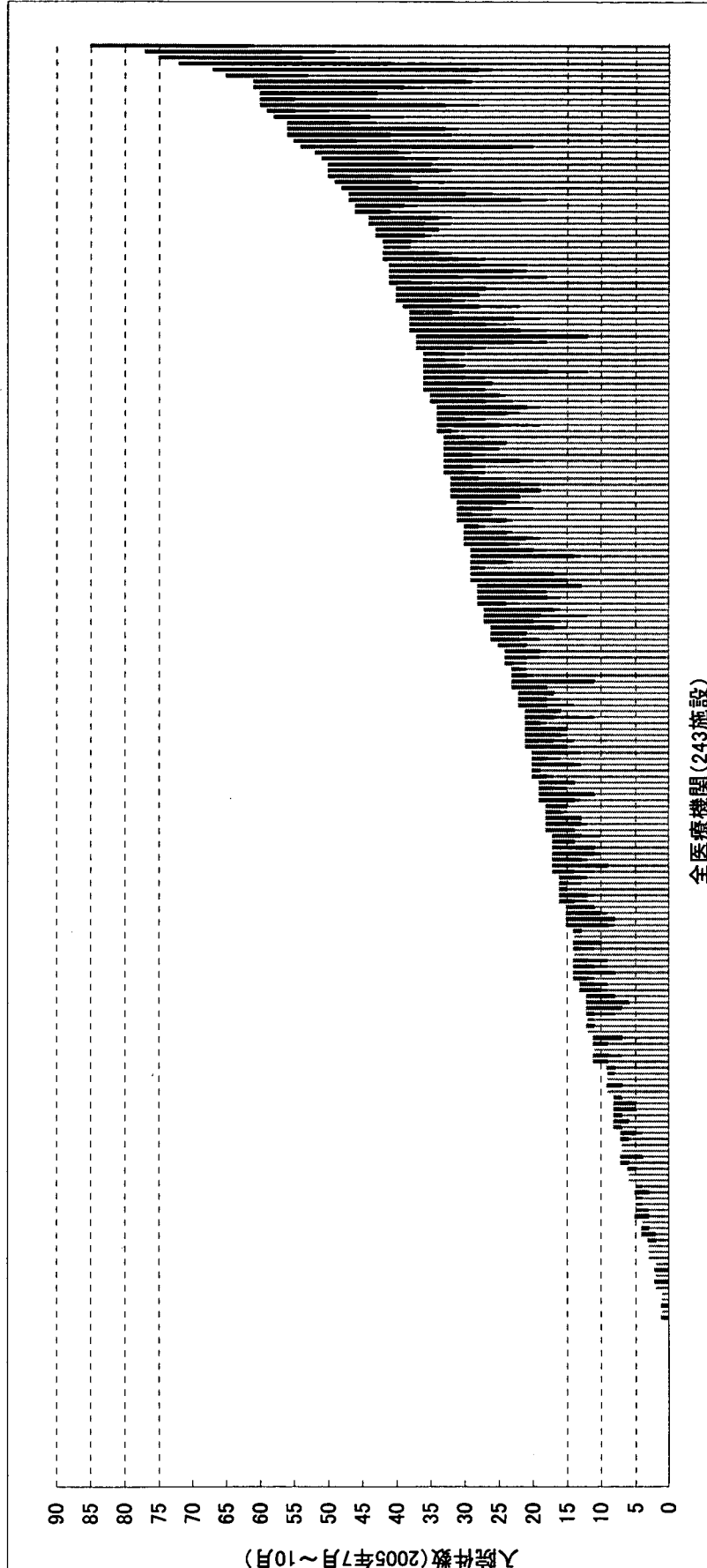
・甲状腺機能亢進症の診療報酬点数〔出来高換算〕(一入院当たり)は、特定機能病院の方が高い傾向にあった。

MDC11

腎・尿路系疾患及び
男性生殖器系疾患

膀胱腫瘍の入院件数

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル												
分類名	解析内容	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
膀胱腫瘍	入院件数	5,581	23	18	0	85	0	0	8	20	35	48	58	
	膀胱腫瘍の入院件数(その他)	1,376	6	7	0	39	0	0	2	4	9	15	20	
	膀胱悪性腫瘍手術切除等	389	3	2	1	13	1	1	1	2	4	6	7	
	膀胱悪性腫瘍経尿道的手術(TUR-Bt)	3,816	18	11	1	61	3	5	9	16	26	34	38	



【図の説明】

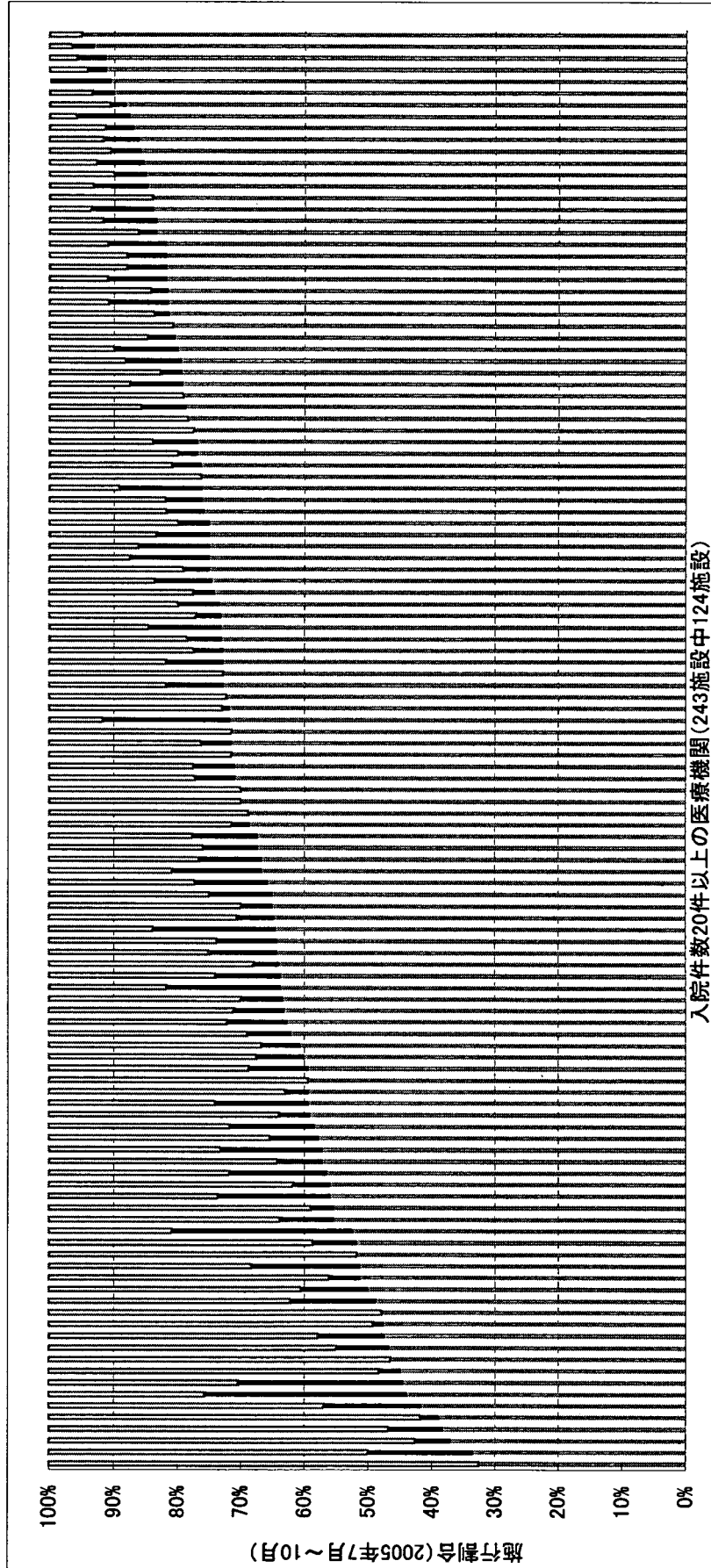
: 膀胱悪性腫瘍経尿道的手術(TUR-Bt)[DPC手術コード:06]
 : 膀胱腫瘍の入院件数(その他)[DPC手術コード:02,03,97,99]

【コメント】

- ・膀胱腫瘍の入院件数は、MDC11の全件の約10%を占めていた。
- ・全体の88%(215施設)において1件以上の入院が見られた。

膀胱腫瘍の治療内訳(N = 4,643)

分類名	解析対象DPC番号の範囲	対象	パーセンタイル										
			平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
膀胱腫瘍	1100703	その他の治療の割合	25%	13%	0%	68%	6%	8%	15%	23%	31%	43%	52%
		癌の膀胱切除・全摘術の割合	7%	6%	0%	32%	0%	0%	3%	6%	10%	15%	18%
		TUR-Btの割合	68%	14%	32%	95%	44%	48%	59%	71%	79%	85%	88%



【図の説明】

件数20件以上の施設を解析対象とした。

■ : 膀胱悪性腫瘍経尿道的手術(TUR-Bt)[DPC手術コード:06]

□ : その他の治療[DPC手術コード:02,03,97,99]

■ : 膀胱悪性腫瘍手術切除等[DPC手術コード:01]

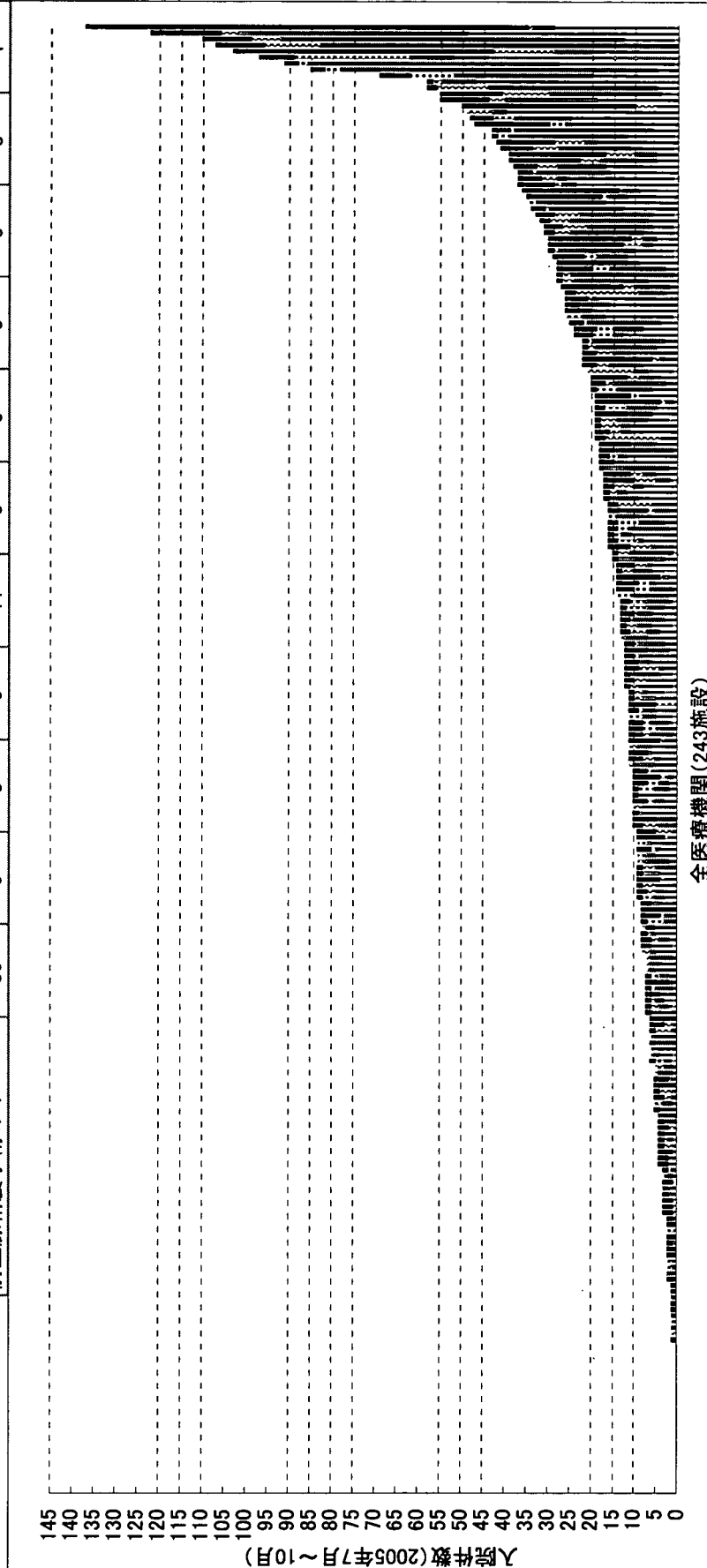
【コメント】

- ・TUR-Btが治療全体の6割強を占めた。
- ・TUR-Btがまったく施行されない施設では、膀胱切除術も施行されていない。

前立腺の悪性腫瘍の入院件数

解析対象DPC番号の範囲 1100803

分類名	解析内容	パーセンタイル											
		入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
前立腺の悪性腫瘍	入院件数	4,085	17	21	0	137	0	0	4	11	20	37	54
	その他の内科的治療	919	4	9	0	102	0	0	1	2	4	8	16
	その他の外科的治療	548	3	3	0	27	0	0	1	2	4	5	7
	化学または放射線療法のみ	1,306	6	12	0	83	0	0	1	2	5	16	21
	前立腺精嚢手術に化学・放射線療法併用	1,223	6	7	0	49	0	0	1	4	7	13	20
	前立腺精嚢手術のみ	89	0	3	0	44	0	0	0	0	0	1	1



全医療機関(243施設)

【図の説明】

■ : [DPC手術コード:01かつ化学・放射線療法ともなし]

■ : 前立腺精嚢手術に化学・放射線療法併用[DPC手術コード:01かつ化学または放射線療法あり]

■ : 化学または放射線療法のみ[DPC手術コード:99かつ化学または放射線療法あり]

■ : その他の外科的治療[DPC手術コード:02,03,97]

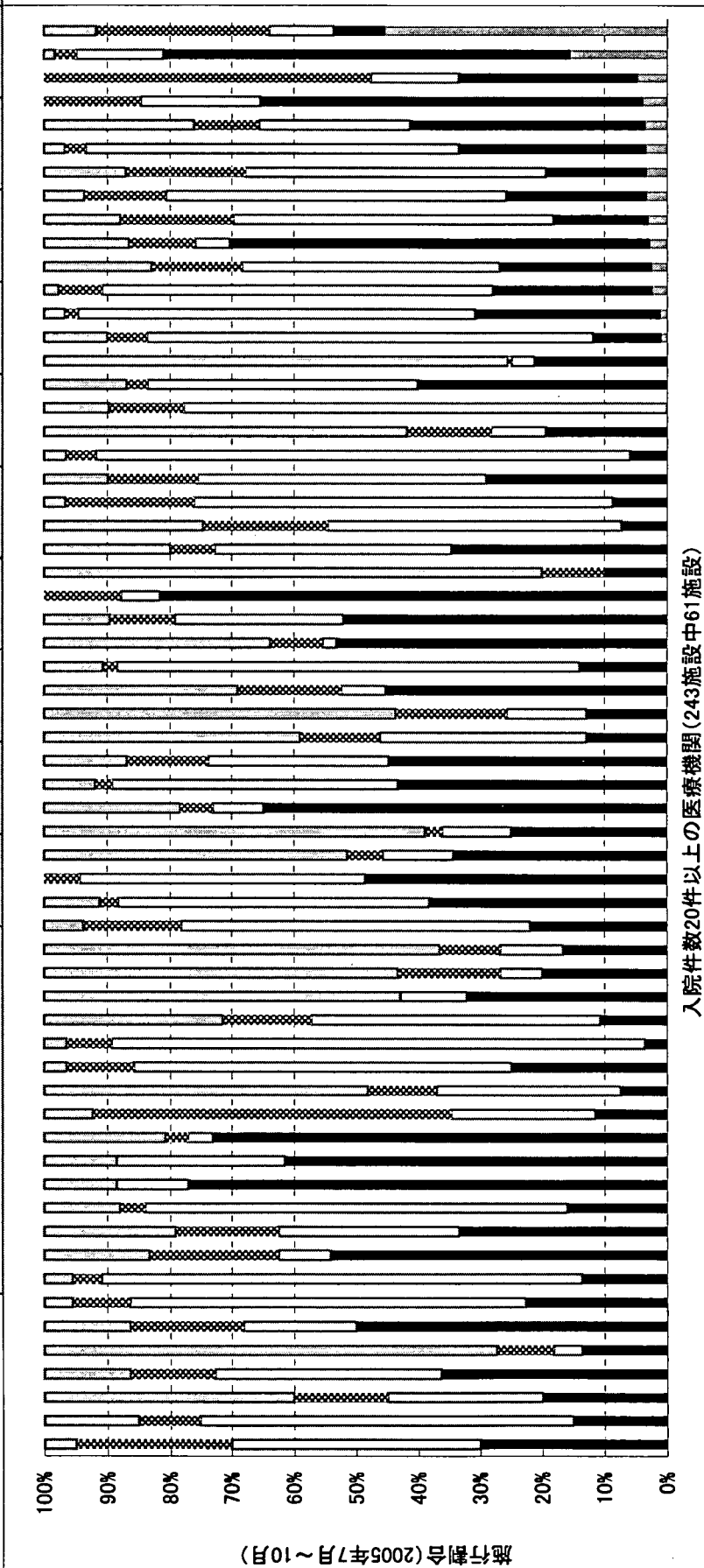
■ : その他の内科的治療[DPC手術コード:99かつ化学・放射線療法ともなし]

【コメント】膀胱腫瘍の入院件数は、MDC11の全体の約7%を占めていた。

・全体の90%(218施設)において1件以上の入院が見られた。

前立腺の悪性腫瘍の治療内訳(N = 2,656)

分類名	対象	パーセンタイル										
		平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
前立腺の悪性腫瘍	その他の内科的治療	21%	22%	0%	80%	0%	3%	6%	13%	29%	57%	63%
	その他の外科的治療	12%	10%	0%	58%	1%	3%	5%	10%	15%	20%	25%
	化学または放射線療法のみ	35%	25%	0%	86%	4%	6%	11%	30%	55%	68%	77%
	前立腺精嚢手術に化学・放射線併用のもの割合	30%	20%	0%	82%	7%	9%	14%	25%	43%	62%	68%
	前立腺精嚢摘出手術のみ	2%	6%	0%	45%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	4%



【図の説明】

件数20件以上の施設を解析対象とした。

放射線療法のみ [DPC手術コード:01かつ化学・放射線療法とみなし]

化学療法のみ [DPC手術コード:01かつ化学または放射線療法あり]

併用療法 [DPC手術コード:99かつ化学または放射線療法あり]

放射線療法のみ [DPC手術コード:02,03,97]

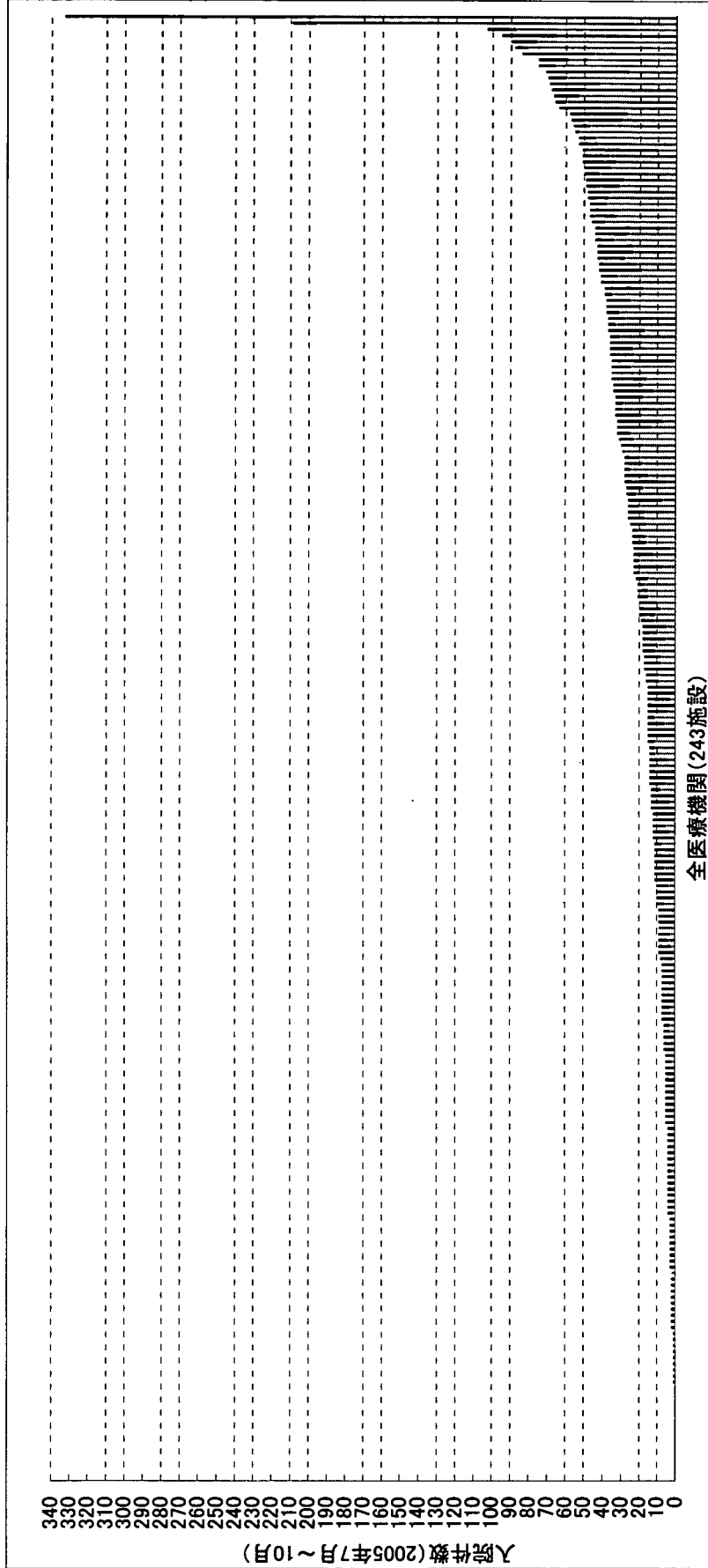
化学療法のみ [DPC手術コード:99かつ化学・放射線療法とみなし]

【コメント】

・治療の選択は前立腺精嚢摘出手術、化学療法または放射線療法、その他の内科的治療の3つが主流でその割合はかなりの施設差がみられた。

上部尿路結石症の入院件数

分類名	解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル												
	解析内容	1101203	入院件数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95	
上部尿路結石症	入院件数		5,673	23	31	0	333	0	1	5	14	35	51	68	
	その他		2,300	10	11	0	136	1	3	4	8	13	19	23	
	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(ESWL)		3,373	23	27	1	197	2	3	8	18	30	45	60	



【図の説明】

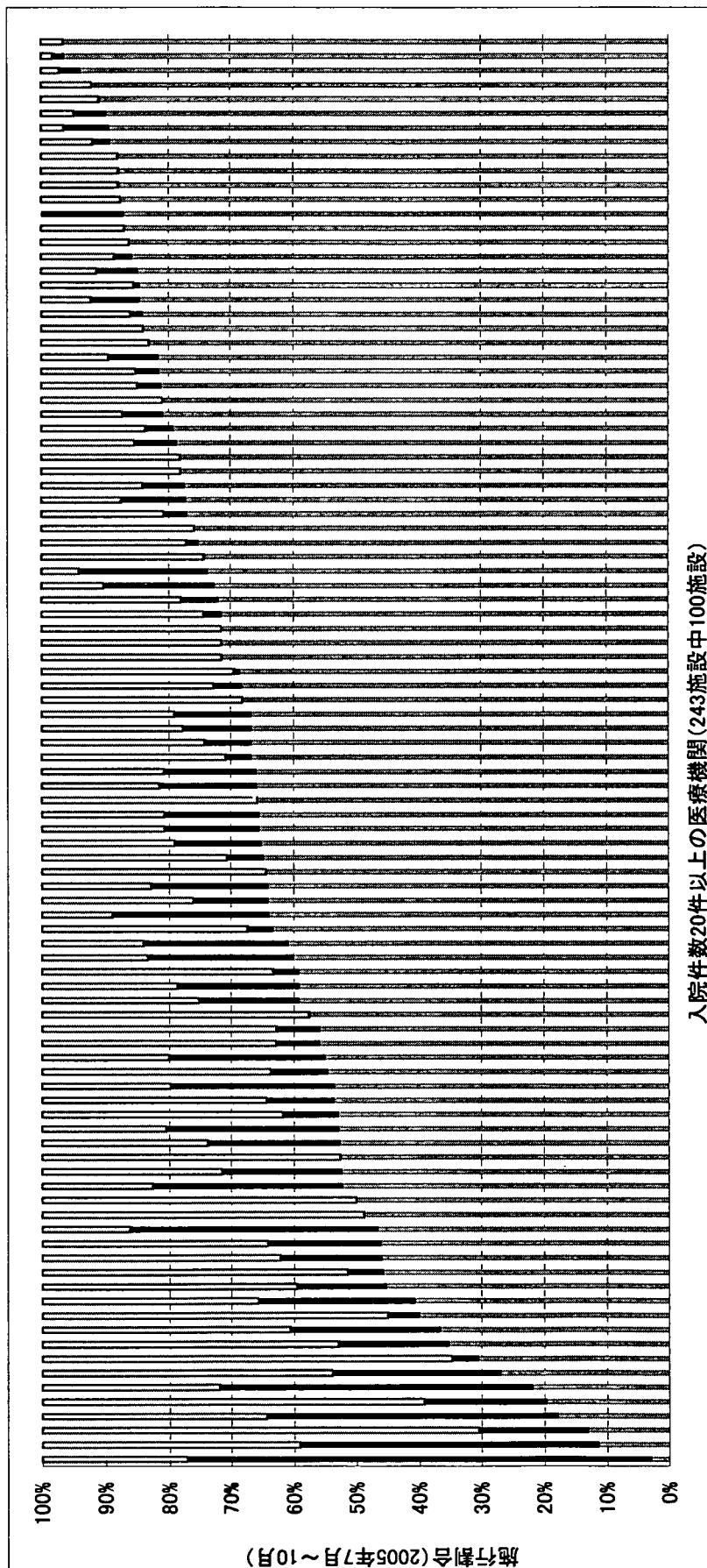
■ : 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(ESWL)[DPC手術コード:04] ■ : その他[DPC手術コード:01,02,03,97,99]

【コメント】

- ・膀胱腫瘍の入院件数は、MDC11の全件の約10%を占めていた。
- ・全体の93%(227施設)において1件以上の入院が見られた。

上部尿路結石症の治療内訳(N = 4,648)

解析対象DPC番号の範囲		パーセンタイル										
分類名	対象	平均値	標準偏差	最小値	最大値	5	10	25	50	75	90	95
上部尿路結石症	尿管結石根治術に占めるその他の割合	24%	14%	0%	70%	5%	9%	14%	22%	34%	43%	50%
	尿管結石根治術に占めるTULの割合	11%	13%	0%	74%	0%	0%	0%	6%	17%	25%	31%
	尿管結石根治術に占めるESWLの割合	65%	20%	3%	97%	22%	40%	53%	67%	81%	88%	90%



【図の説明】

件数20件以上の施設を解析対象とした。

■: 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術(ESWL)[DPC手術コード:04]

□: その他[DPC手術コード:01,03,97,99]

■: 経尿道的尿管結石除去術(超音波下含む)等<TUL>[DPC手術コード:02]

【コメント】

・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術の割合が平均で7割に達しているものの、施設によるバラツキは大きかった。